

居眠り運航撲滅キャンペーン

瀬戸内海・宇和海海難防止運動
～居眠り海難ゼロをめざして～

船橋当直者への注意事項

●居眠り運航防止策の徹底と常時適切な見張りの励行

1. 眠気を催したら
 - ①椅子に腰掛けず立直しましょう。
 - ②時々ウィングに出て外気に当たしましょう。
 - ③顔を洗ったり、体操するなど身体を動かしましょう。
 - ④コーヒーやお茶を飲んだり、ガムを噛んだりしましょう。
2. 操舵室の椅子を撤去したり、使用禁止とすることも効果的です。
3. 船橋・機関の当直者間で一定時間ごとにベルを鳴らしあったり、電話で話をしましょう。
4. どうしても眠い時は他の乗員と操船を交代しましょう。

●適切な自動操舵装置の使用と船橋航海当直警報装置の活用

1. 船舶ふくそう海域において、自動操舵装置の使用は自粛しましょう。
2. 船舶ふくそう海域以外でも眠気を催したら、手動操舵に切り替えましょう。
3. 船橋航海当直警報装置を常時作動させて、適度に身体を動かしましょう。

船舶所有者・運航者への注意事項

●無理のない運航計画と配船計画の策定

1. 近距離、長距離の航海計画を組み合わせ、航海中に休息が取れるようにしましょう。
2. 「航海当直→入港作業→荷役立会い→出港作業→航海当直」と、連続勤務にならないようにしましょう。
3. 年間を通して、計画的に海難防止講習会を実施しましょう。

- 居眠り運航誘発要因
- 一、自動操舵の使用
- 二、一人当直
- 三、腰掛け等の安楽姿勢
- 四、深夜帯、穏やかな天候
- 五、疲労を蓄積させる運航計画

あくび

居眠り

事故

第六管区海上保安本部

海難防止強調運動瀬戸内海・宇和海地方推進連絡会議

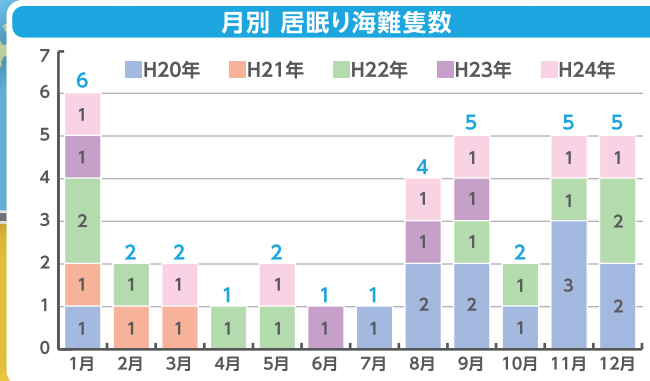
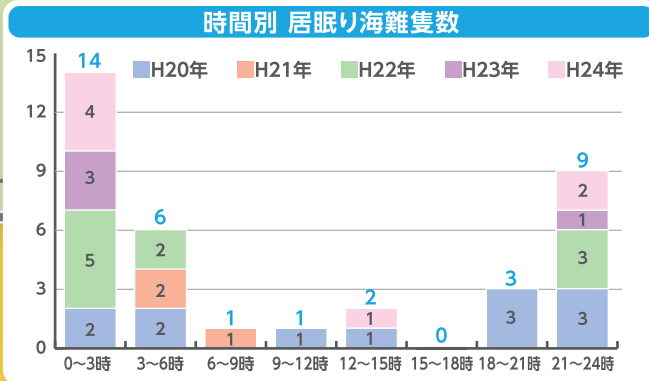
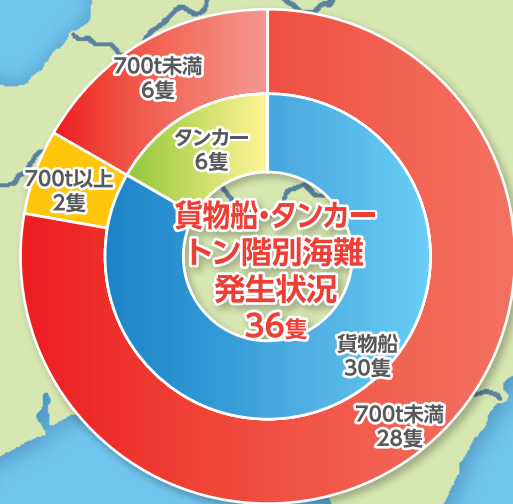
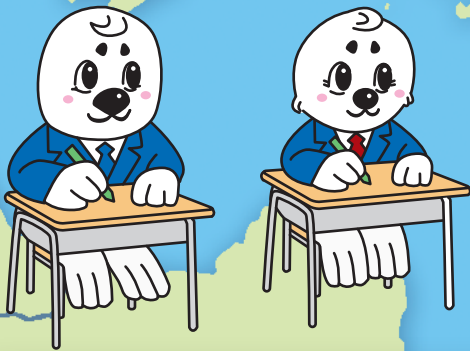
(公財)海上保安協会広島地方本部、(公社)瀬戸内海海上安全協会、(公社)瀬戸内海小型船安全協会
中国総合通信局、四国総合通信局、中国運輸局、四国運輸局、広島地方海難審判所、運輸安全委員会広島事務所
中国地方海運組合連合会、全日本海員組合中・四国支部、内海水先区水先人会、船員災害防止協会中国支部

*このリーフレットは、(公財)海上保安協会広島地方本部の助成により作成しています。

過去5年(平成20~24年)居眠り海難発生海域

過去5年で36隻ものタンカーや貨物船が居眠りを原因とした事故を起こしているんだね。
瀬戸内海には島が727個もあるんだって。一瞬の眠りが事故につながる危険な海域だね。

居眠り海難は、
月別では8月から翌年1月にかけて、
時間別では21時から3時の間に
多く発生しているのね。



- 700トン以上の居眠りによる貨物船、タンカー衝突・乗揚海難発生位置
- 700トン未満の居眠りによる貨物船、タンカー衝突・乗揚海難発生位置